

2002年12月10日

エコ・リサ通信

第41号

埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

エコ・リサイクル交流集会 2003 概要

今こそ活かそう！市民の知恵
—循環型社会はもうそこまで—

日時 2003年2月1日(土) 午前10:00～午後4:30

会場 さいたま市民会館うらわ(元浦和市民会館)

参加費 無料

申込締切 平成15年1月24日(金)

参加方法 申込書に記入の上、郵送もしくはFAXにて

申し込み及び問い合わせ先

〒336-8501 さいたま市高砂 3-15-1

埼玉県廃棄物政策室 リサイクル促進担当 柳(やなぎ)

電話番号 048-830-3129 FAX 番号 048-830-4791

主催 彩の国さいたま環境推進協議会、埼玉県、埼玉エコ・リサイクル連絡会

- | | |
|-------|---|
| 9:30 | 受付開始 |
| 10:00 | 主催者あいさつ |
| | 基調講演「パートナーシップで進める循環型社会」 |
| | 講師 高木史人(いちかわ地球市民会議代表) 加藤 正(市川市環境清掃部次長) |
| 12:00 | 休憩 |
| 13:00 | 分科会受付開始 |
| 13:30 | 分科会 |
| | 第1分科会「ごみの減量に挑む行政の活動について」 |
| | 第2分科会「めざせ！環境にやさしい商品が手に入る社会を」 |
| | 第3分科会「循環型社会のライフスタイルとは」 |
| | 第4分科会「繊維類の適正な循環システムの構築に向けて」 |
| 16:30 | 分科会終了 |
| | 懇親会(参加費 3,000円:軽食・飲み物付) |

エコ・リサ交流集会 2003 年プログラム

基調講演 「パートナーシップで進める循環型社会」

講師 いちかわ地球市民会議代表 高木史人さん
市川市環境清掃部次長 加藤 正さん

市川市における市民・事業者・行政のパートナーシップにより、地球温暖化防止、三番瀬の保護、ごみ減量、ノーレジ袋運動等について、高木史人氏、加藤正氏のお二人の講師より活動事例・成果をお話いただく。

分科会

第1分科会「ごみの減量に挑む行政の活動について」

平成 13 年度の埼玉県の焼却ごみの内容解析、目標管理可能な川越市のごみ処理原価計算、1 年間でごみの排出を半減した日野市の戦いについての発表及び意見交換・質疑応答などを行ないます。

発表者 川越市環境業務課管理係長 山口健一さん
日野市役所環境共生部リサイクル課長 佐野榮一さん

第2分科会「めざせ！環境にやさしい商品が手に入る社会を」

「環境買物ガイド」が市民や企業に与える影響力の大きさを確認し、埼玉県内全市町村で「環境買物ガイド」が発行できることを促進するため、グリーンコンシューマー委員会が作成した「買物ガイド作成マニュアル（エコ・リサ版）」を発表する。

講師 特定非営利活動法人「環境市民」 木久本（すぎもと）育生さん（京都市）

第3分科会「循環型社会のライフスタイルとは」

長野県田中知事の環境行政推進の裏方である岡本一道氏、「スロー・イズ・ビューティフルの生活」を提唱する吉岡淳氏、「楽しんで温暖化を進める」足温ネットの方と一緒に、皆で循環型社会のライフスタイルを考える。

第4分科会「繊維類の適正な循環システムの構築に向けて」

ホント？・・・『古着の90%が焼却・埋め立て！』・・・今私たちにできること。しなければならないこと。

今年度は繊維製品に係る川上側（日本アパレル産業協会）、消費者団体（ファイバーリサイクルネットさいたま）、川下側（埼玉中央ウエイスト商工業協同組合）、行政（所沢市役所）、国（経済産業省繊維課）に集まっていたいただき、現状の問題点を明らかにし参加者との徹底討議を行ないます。

エコ・コミュニケーション大交流会

埼玉エコ・リサイクル連絡会は93年（平成5年）11月に発足しました。今年度が10周年にあたります。6月には埼玉会館で記念公演「虹の立つ海」を開催しました。

秋にも何か記念となる事業を、ということで、役員一同頭をひねり、考えました。

さすがのエコリサ役員、10年のキャリアであちこちの事例を参考に、記念するにふさわしい事業を考え出しました。特にヒントになったのは川口市で開かれた「環境まちづくりフォーラム」と蓮田市の「NPO 団体交流会」です。

このようにして11月2日大宮ソニックシティビルで大交流会が開かれたのです。参加者は約55名でした。

会場にはぐるりと15団体の談話コーナーの展示が並べられ熱気が感じられる中、午後2時半から開会、10周年を迎えた主催者高木会長からのあいさつがありました。

そのあと、長いあいだご支援いただいていた、(社)日本青年会議所埼玉ブロック協議会の高橋会長からのごあいさつ、パートナーシップを築いて来た県の廃棄物政策室の室長からのごあいさつ、続いて土淵初代事務局長のあいさつがありました。

いよいよ2時50分から各団体の活動発表です。

(株)相馬建設工業 北本市ごみ減量等推進市民会議 熊谷の環境を考える連絡協議会
埼玉中央ウエスト商工業協同組合 狭山リサイクル連絡協議会 ダイオキシンを考える市民の会(川口市) 日高のごみを考える会 ファイバーリサイクルネットワークさいたま かわごえ環境ネット 合成洗剤をやめていのちと自然を守る埼玉連絡会の順にとてもすばらしい地道な活動実践の発表がありました。また、県のダイオキシン対策室からもアピールがありました。

そのあとは各団体の談話コーナーをたずねあつての自由な相互の交流タイムとなりました。

談話コーナーの展示はいずれも力作で見ごたえがありました。まんなかのテーブルにはパンフレットなどもフリーコーナーも設置されました。そして5時半からは懇親会でさらに交流を深めることができました。

思い起こせば10年間いろんなことがあり、感慨深いものがあります。多くの方の力が積み重なって現在のエコリサがあり、新しい方の参加も増え、ますます活性化しつつあるエコリサです。

多様な立場の人が「より良い地球環境を次世代に残す」ということをめざし、そのパワーが1足す1が3にも4にもなるということはあるようで、案外なかなかむずかしい現状の中、このペースでますます貴重な役割を担っていきそうです。その一端に参加できることが楽しめるということがいつまでも続いて欲しいと願っています。（報告 園田）



テーマは「水環境・石けん」

(さいたま市環境フェアに参加して)

10月20日、さいたま新都心・けやき広場で開催された「さいたま市環境フェア」に「エコ・リサさいたま支部」として3名参加しました。水環境に与える合成洗剤の害が分かるように、かいわれ大根の発芽実験や、蛍光増白剤を感知するブラックライトなどを展示し、参加者に説明しました。



子どもたちは、かいわれ大根の実験に興味を持ったようで、傍にいますお母さんの顔を見て「ウチ、これ使っていないよネ」と言っていました。特に合成の歯みがき剤の溶液にまいたものが芽が出ないことにショックを受けたようでした。斜向かいのテントの女性が代わる代わる見に来られて「知らなかった。怖いね」と言っておられたのが印象的でした。

テレビのCMを見て物を選んでいる人が多い今、「本当のこと」をこういう催しで知らせてあげなければ、と切に感じました。

埼玉県はホタルやメダカが棲んでいた昭和30年代前半の頃の川に戻すために「ふるさとの川再生」に力を入れています。その頃、石けんの生産量は30万t、合成洗剤が15万tでした。現在は石けんが15万t、合成洗剤は100万tにも増えています。合成洗剤の使用をやめる事によって、川の生き物の回復に希望が持てます。今後もこのアピールを続けていくことが大切であることを実感しました。

この日は北風が強く、「寒い、寒い」と足をバタバタしながらの説明でしたが、Hさんがフリーマーケットでジャケットを調達してきたのを皮切りに、3人とも帰りは別の衣装でした。

(報告 田中輝子)

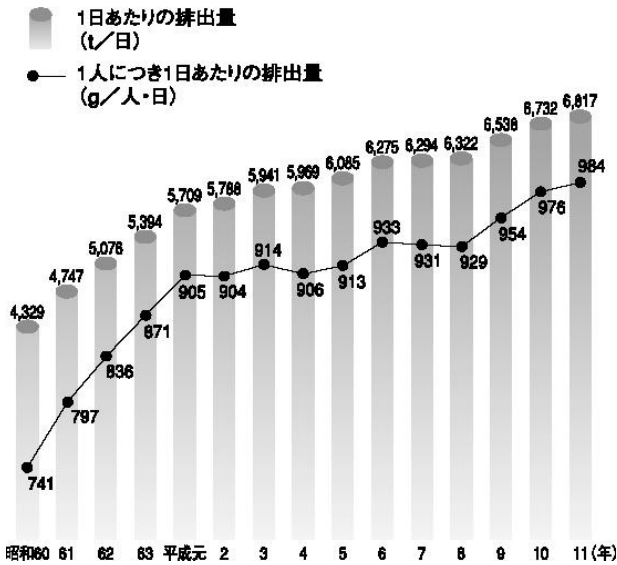
かいわれは、正直でしょ！身体のためにも、川や海のためにも石けんを使いましょうね。

アラ、このハミガキ剤、ウチで使っているのと同じだね。芽が出ないなんて・・・！



ごみを減らして、みんなでダイオキシン類を削減しましょう

埼玉県のごみ排出量



ダイオキシン類を発生させているのはだれ？

現在、環境中に排出されているダイオキシン類は95%が廃棄物の焼却により発生しており、そのうちの半分以上は、私たちの生活から毎日出されるごみの焼却によるものです。

市町村のごみ焼却施設や家庭・事業所などの小型焼却炉では、微量ながらダイオキシン類がつくられてしまうからです。

このため、市町村のごみ焼却施設では、ダイオキシン類が出にくい構造に改修しています。また、民間の廃棄物焼却施設でも改修が進んでおり、改修できない施設は廃止される方向にあります。

ダイオキシン類を減らすためには

ごみの発生量、特に焼却するごみの量をへらすことがとても有効です。また、ダイオキシン類は焼却のときの排出ガスだけでなく、焼却灰にも含まれています。この焼却灰を減らすためにも、焼却するごみを減量することが必要です。

12月から家庭用の小型焼却炉の基準も厳しくなります

本年12月1日から焼却炉の構造等の基準が一層厳しくなります。家庭用の小型焼却炉でも、燃焼温度を800度以上に保つことや、温度計、バーナーをつけることが必要となり、規模が大きな焼却炉ではさらに厳しい基準をクリアしなければなりません。

現在使用されている事業所や家庭のほとんどの小型焼却炉では基準が満たせず、12月以降は使用できなくなります。

なお、焼却炉を用いないで行うごみの焼却や、ドラム缶などでの焼却は、法律や県の条例で禁止されています。

(埼玉県、彩の国さいたまダイオキシン類削減推進委員会)



新しい基準を満たさない焼却炉で、ごみの焼却はできません

「塩ビ製卵パック1個、家庭用焼却炉に投入すると、
東京ドーム内の空気を国の定めた環境基準の2倍に汚染する」

東京都発表の東京都環境科学研究所の実験結果より

久喜・宮代衛生組合では、プラスチックの徹底分別などによりダイオキシンの発生を激減させている。

| 測定日(年、月) | 93.10 | 94.9 | 95.3 | 96.3 | 97.3 | 98.3 |
|---------------------|-------|------|------|------|------|------|
| ダイオキシン濃度 (排気ガス中) | 42 | 97 | 7.9 | 6.3 | 11 | 1.7 |

電気を使わぬ 完全消滅型 生ゴミ処理

「ゴミケシくん」

10/16日「ゴミケシくん」
開発者、藤本 綸子氏を囲み、「ゴミを知ろう研究会」
を開催。

電気を使わぬ、「完全消滅型、生ゴミ処理方式」ということで会員一同興味津々。かねてからの愛用者、上領さんを通じ、福岡からきて頂きました。色白で血色の良い80歳、お元気な方です。ご本人曰く、ゴミケシ君をかき混ぜて、そのエネルギーを吸収するお陰です……。最後に出席者9名、モニターの為、購入しました。

「ゴミケシくん」生ゴミ分解の基本は、好気性アースラブ（商品名）酵素による、との事でした。酵素なので天候、気温に関係が無い（5～10℃）生ごみに含まれる塩分は、塩素ガスとナトリウムに分解。コンポストを肥料にすることも出来る。全じ原理の大型機（1日処理量、100Kg）が福岡市魚市場に採用、自衛隊市ヶ谷では9台モニター中で、実績を挙げているそうです。

会員の質問から、分解は菌が出す酵素らしいと想像がつかれましたが、科学的にはまだ実証しきれないところもあるようでした。

報告 伊藤 厚

幕張メッセ ウェステック2002

廃棄物処理・再資源化展 11/26～29

267社・団体が、「廃棄物収集・輸送関連」「破碎分別処理関連」「生物処理施設」「廃棄物の削減・リサイクルシステム」など13の部門で技術や製品、ツールなどを展示

自治体向けの焼却炉の特徴や企業向けの生ごみ処理機など大型機械の展示が多く、自治体で分別し事前処理したプラスチックと石炭をコークス炉に投入し、100%原料化する設備を開発した新日鉄が、環境大臣賞を受賞。

トウモロコシがウォークマンに！

高温多湿のコンポスト環境で微生物によって分解される生分解性プラスチックが色いろな製品に、なかには7日間で土に戻る生分解性軟質シートまである。トウモロコシが原料の農業用マルチは、ポリや塩ビの2.5倍の価格ため、北海道などのように耕地面積が大きいところのみ販売実績が上がっているなど、やはりプラスチックに関する展示が多い。

洋菓子メーカーが、生産ラインの開発を手がける技術陣で開発した業務用生ごみ処理機を展示、循環システムの紹介までセットで販売しているコンビニ店舗用の生ごみ処理機の実演など興味をもてる展示多数。

びんを割る機械の実演を見て、その単純さに「どうしてこの機械が新しいの？」と思わず口にしたら、担当の方が「びんを細かく割るのは簡単だけれど洗浄工程のために粉が出ないように大きく割るのは難しいです」と説明いただき、リサイクルといっても、企業努力のポイントを説明を聞くまでは理解できず、消費者目線のみで環境技術を判断するのが難しいことを思い知らされましたが、逆に発見の多い新鮮な1日でした。 報告 大前



LOVE & PEACE ～地域の力を結集しよう～

LOVE & PEACE ～地域の力を結集しよう！～

10月26日(土)に社団法人埼玉中央青年会議所(星浩隆理事長)主催で開催された「あなたの1円玉がジョンの巨大コイン画になる日・・・」と地域約600ヶ所に設置した募金箱はこの地域の方々から1円玉募金としてたくさんの気持ちを頂きました。その1円玉約100万枚を画材として、37M×25Mの巨大キャンバスに当日の参加者約300名の皆さんで1円玉を置きジョンレノンの自画像を製作していきました。朝はあいにくの雨でしたが、この日のために募金箱をもって受付に並んで待っていて方、傘を持ちながら朝からずっと最後まできれいに1円玉を並べていた方、小さなお子様も友達と一緒に楽しそうに参加していただきました。

ジョンレノンの巨大コイン画も夕方には完成し、各々が記念撮影をしている光景がしばらく続き、その後コイン画は取り壊されましたが、ここに集まった皆様の気持ちは記憶なかに残っていただけだと思います。目標200万2002枚には及びませんでした。数字にはかえられない大きな力がここに結集し、完成に至ったと感謝しております。また、この貴重な浄財はジョンレノンとオノヨーコさんが設立したスピリット財団に寄付し、福祉に使われていきます。

社団法人埼玉中央青年会議所
広域事業特別会議副議長 古川 輝昭



賛助団体のご紹介

| | |
|--------------------|------|
| (株)谷澤商会 | 富士見市 |
| (株)相馬建設工業 | 川口市 |
| 五十嵐 文彦 | 狭山市 |
| 高橋 茂仁税理士行政書士事務所 | 草加市 |
| (株)高読 | 幸手市 |
| 吉見商事(株) | 熊谷市 |
| (株)読売旅行春日部営業所 | 春日部市 |
| ...順不同... | |
| ご支援・ご協力ありがとうございます。 | |

エコ・リサ連絡会 入会のご案内

埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

| | | |
|--------|------|-------------|
| 会費(年間) | 個人会員 | 2,000円 |
| | 団体会員 | 3,000円 |
| | 賛助会員 | 10,000円(1口) |

お願い:エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。よろしくお願いたします。

事務所のご案内

さいたま市 大門町 3-205 新井ビル303号室
(JR大宮駅東口から徒歩8分)
TEL 070-6659-6912(担当園田)
FAX 048-642-6163
ホームページ<http://satte.yc1.co.jp/eco/>

注: yc1 の1は(エル)でなく(いち)です。お間違いなく!

今年度から エコ・リサ専用携帯電話(園田事務局長担当 070-6659-6912)を用意しました。市町村での活動のためにエコ・リサ会員と連絡をとりたい方は、事務所携帯にご連絡ください。会員本人に確認後お知らせいたします。

編集後記

発行が記事の都合上予定よりも遅くなってしまい、原稿を早くにお送りいただいた方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

11/29、ウエステック 2002 をエコ・リサ機関紙担当のMさんと二人で取材してきました。10年近く前にRV車(ガソリン使用)を買ってしまい、後悔の私にMさんが、「今度買い替える時はあの車にすれば、とってもかわいいよ!」と言って指差したのは、展示してあるパッカー車でした。1日で回りきれない展示内容に、来年はエコ・リサの見学会にウエステック 2003 を選んでみるのもおもしろいかなと感じています。(担当 大前)